

# Cisco CallManager : 管理レポートツール ( ART ) を使わない、コール詳細レコード ( CDR ) の手動削除

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[解決策](#)

[Query Analyzer 経由の CDR の削除](#)

[Cisco CallManager Web ページ経由の CDR の削除](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、Administrative Reporting Tool ( ART ) を使用せずに Cisco CallManager の構造化照会言語 ( SQL ) のデータベースからコール詳細レコード ( CDR ) を削除する方法を説明します。

ART を使用して Cisco CallManager の SQL データベースから CDR を消去する方法については、[CAR システムの設定 - 手動データベース消去の使用](#)を参照してください。

## 症状

CDR を使用すると、Cisco CallManager ユーザに次のエラー メッセージまたは電子メール アラートが表示されます。

```
The number of rows in CallDetailRecord table in the  
CDR database has crossed the threshold limit
```

このエラー メッセージは、データベースが定められたレコードの上限に達し、消去する必要がある場合に表示されます。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- Cisco CallManager の管理
- SQL データベースの管理

## 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco CallManager 3.x および 4.x に基づくものです。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

## 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

## 解決策

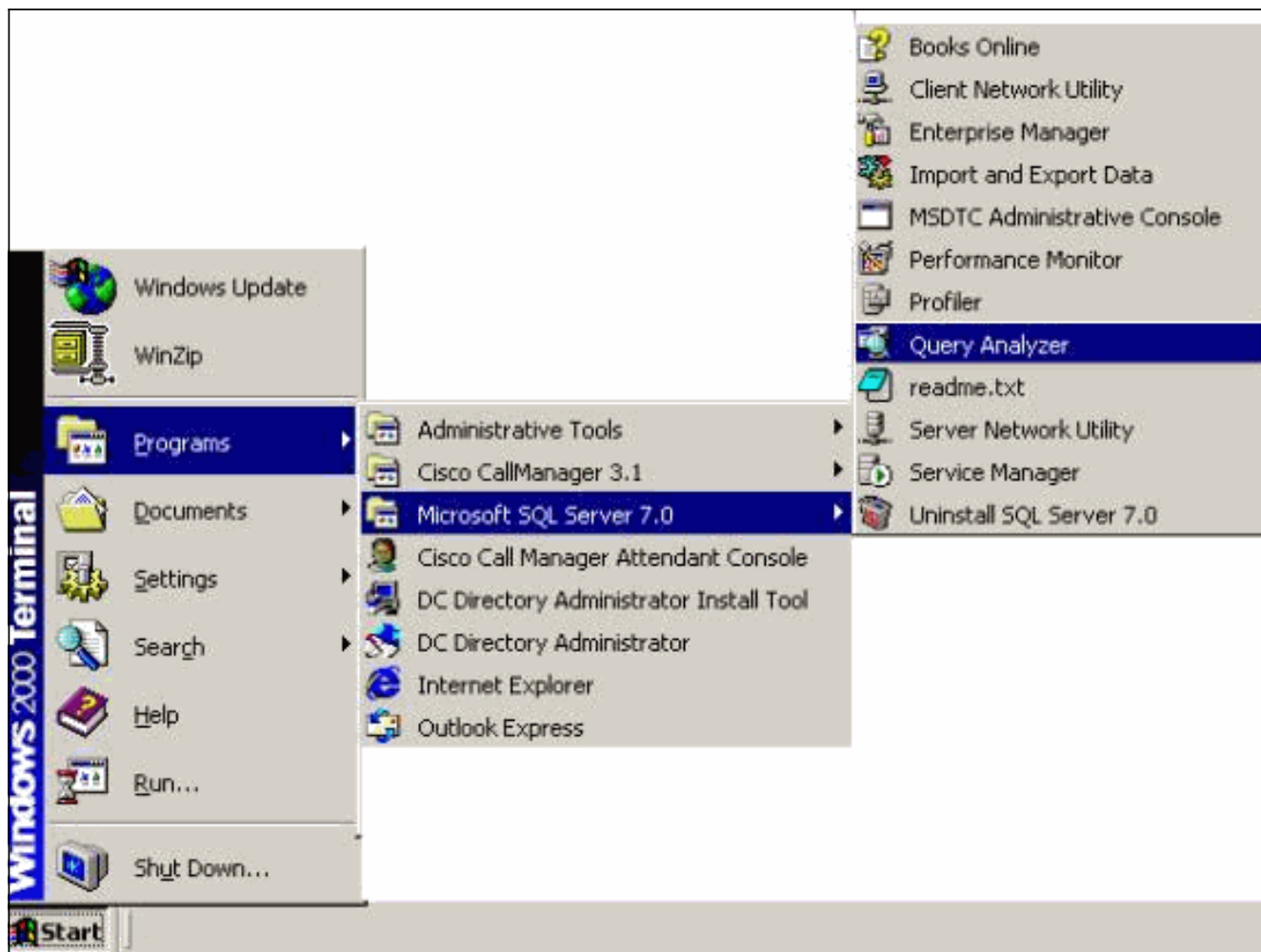
CDR しきい値制限アラート電子メールまたはエラー メッセージを減らすには、次の手順を実行します。

1. アラートを減らすために、CDR の課金情報テーブルの最大行数を増やします。これは、Cisco CallManager Administration Web ページで実行できます。[CAR] > [System] > [Database] > [CAR Database Alert] > [Max number of rows in Billing Table\*] で、その値をより高い値（2,500,000 など）に変更できます。
2. しきい値制限アラートを回避するには、自動消去機能を使用します。自動消去を設定するには、[CAR] > [System] > [Database] > [Configure Automatic Database Purge] の順に選択します。特定の保存日数より古いレコードの CAR 消去を有効にすることができます。

## Query Analyzer 経由の CDR の削除

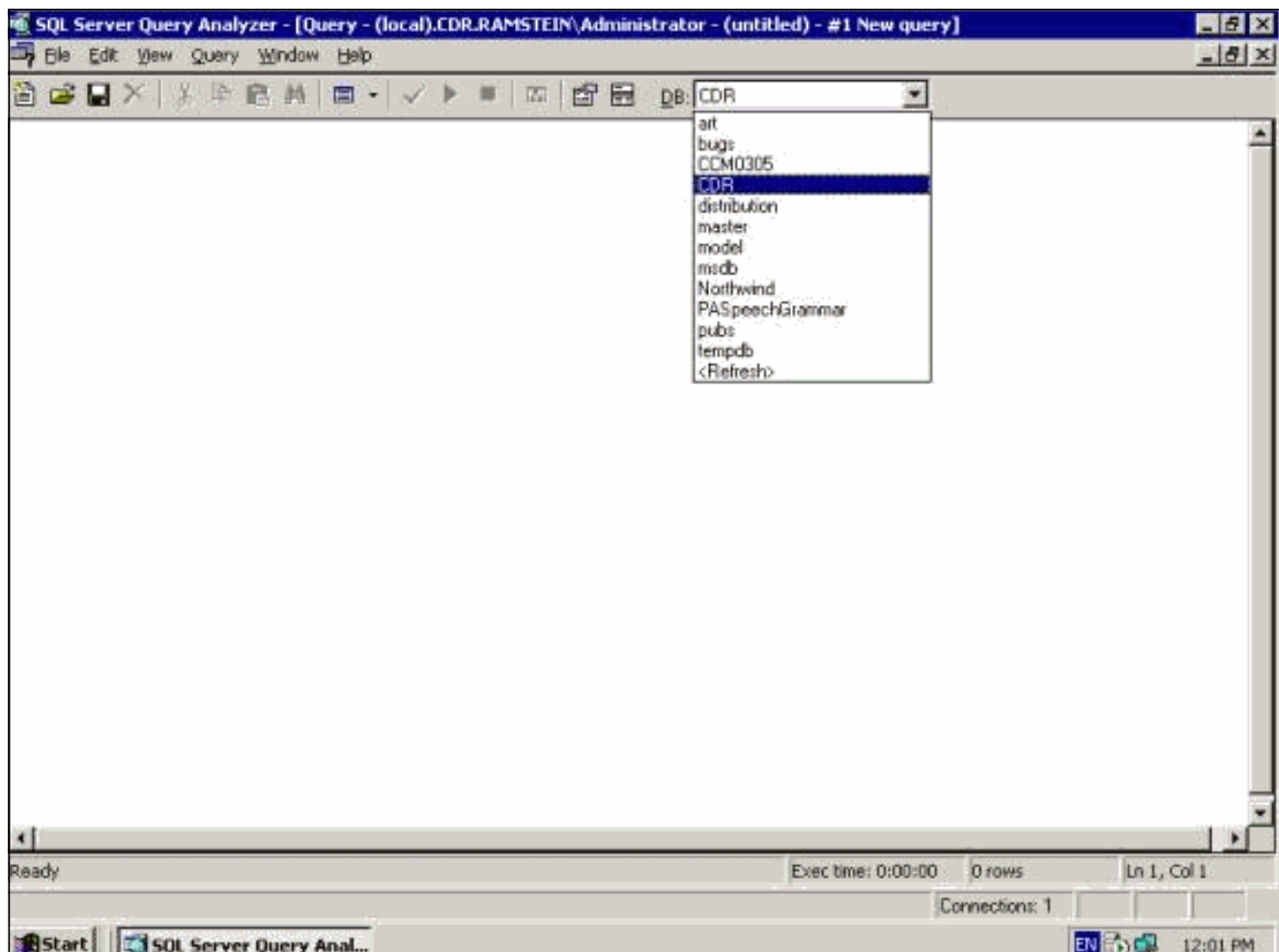
この方法は、プロセッサの負荷が非常に高いため、営業時間中に実行しないようにする必要があります。

1. [Start] > [Programs] > [Microsoft SQL Server 7.0] > [Query Analyzer] の順に選択します。



注: Cisco CallManager 3.3 以降では、Microsoft SQL Server 2000 が使用されます。Cisco CallManager 3.3 以降で、[Start] > [Programs] > [Microsoft SQL Server] > [Query Analyzer] の順に選択します。

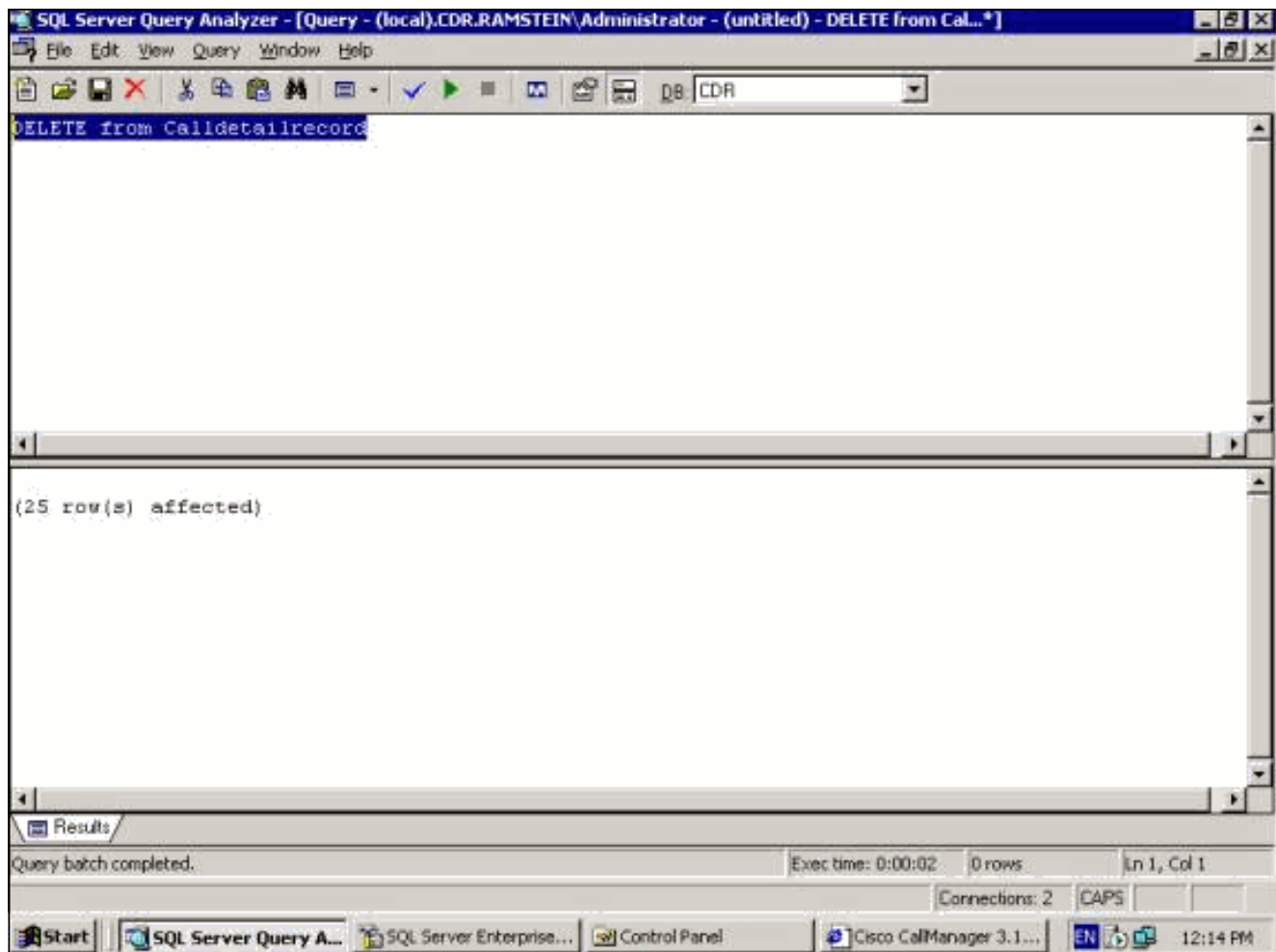
2. Cisco CallManager のバージョンに応じて、[Use Local] > [Windows NT authentication] / [SQL Server authentication] の順に選択します。[OK] をクリックします。注: Cisco CallManager 3.3 では、[SQL Server authentication] を選択して、ユーザ名とパスワードを入力します。Cisco CallManager 4.x では、[Windows NT authentication] を選択します。Windows NT 認証は推奨されます、がシステム 支援 SQL 認証。リリース 4.0 以降の混合モード認証用の Cisco CallManager の設定はサポートされません。以前のバージョンからアップグレードした Cisco CallManager 4.x サーバで SQL Server 認証を使用するとエラーになるため、システムを Windows NT 認証に戻す必要があります。詳細については、[Cisco CallManager 3.x から 4.x へのアップグレード後に SQL Query Analyzer にログインできないユーザ](#)を参照してください。
3. 削除するすべてのレコードを含む CDR データベースを選択します。



4. **DELETE from Calldetailrecord** コマンドを発行します。CDR データベースに大量のレコードが含まれている場合は、このステップにしばらく時間がかかります。この処理が完了すると、次のメッセージがウィンドウの一番下に表示されます。

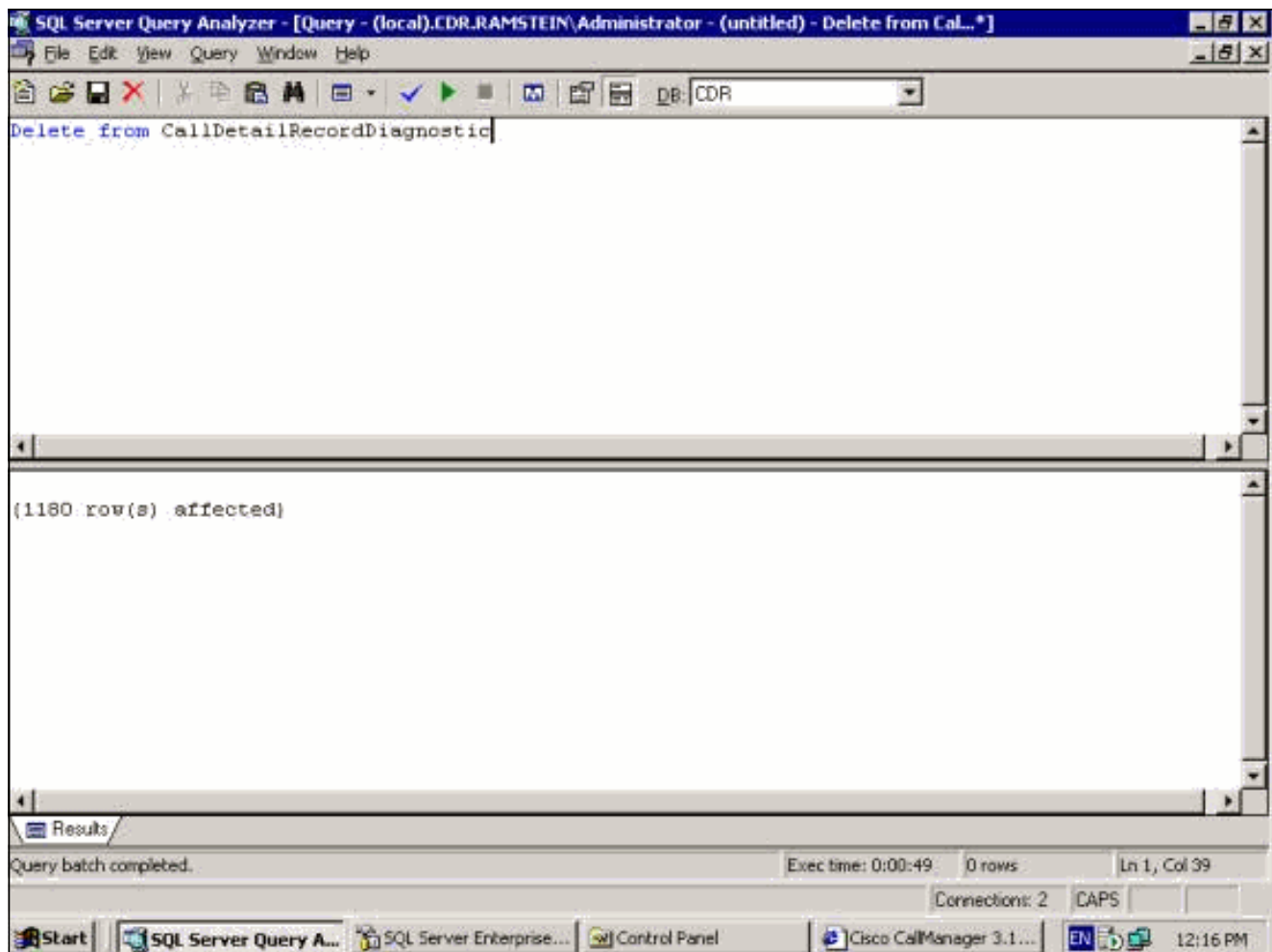
Query batch completed.

この図は、コマンドとシステム メッセージの両方を示しています。



5. Delete from CallDetailRecordDiagnostic コマンドを発行して、CallDetailRecordDiagnostic テーブルからもすべてのレコードを削除します。次のメッセージがウィンドウの一番下に表示されます。

Query batch completed.



## Cisco CallManager Web ページ経由の CDR の削除

Cisco CallManager Web ページを使用するには、Database Layer Monitor サービスを一旦停止してから開始し、それを実行するためのダウンタイムをスケジュールする必要があります。Cisco CallManager Web ページ経由の CDR の手動削除は、[Query Analyzer 経由の CDR の削除](#)の手順ほどプロセッサに負荷がかかりません。

1. メインの管理 Web ページで、[Service] > [Service Parameters] の順に選択します。



[Service Parameters Configuration] ページが表示されます。

- サーバを選択して、[Database Layer Monitor] サービスを選択します。




[Max CDR Records] のデフォルト値は 150000 です。

## Service Parameters Configuration

[Select Another Server](#)  
[Select Another Service](#)

Current Server : 10.48.80.41

Current Service: Cisco Database Layer Monitor 

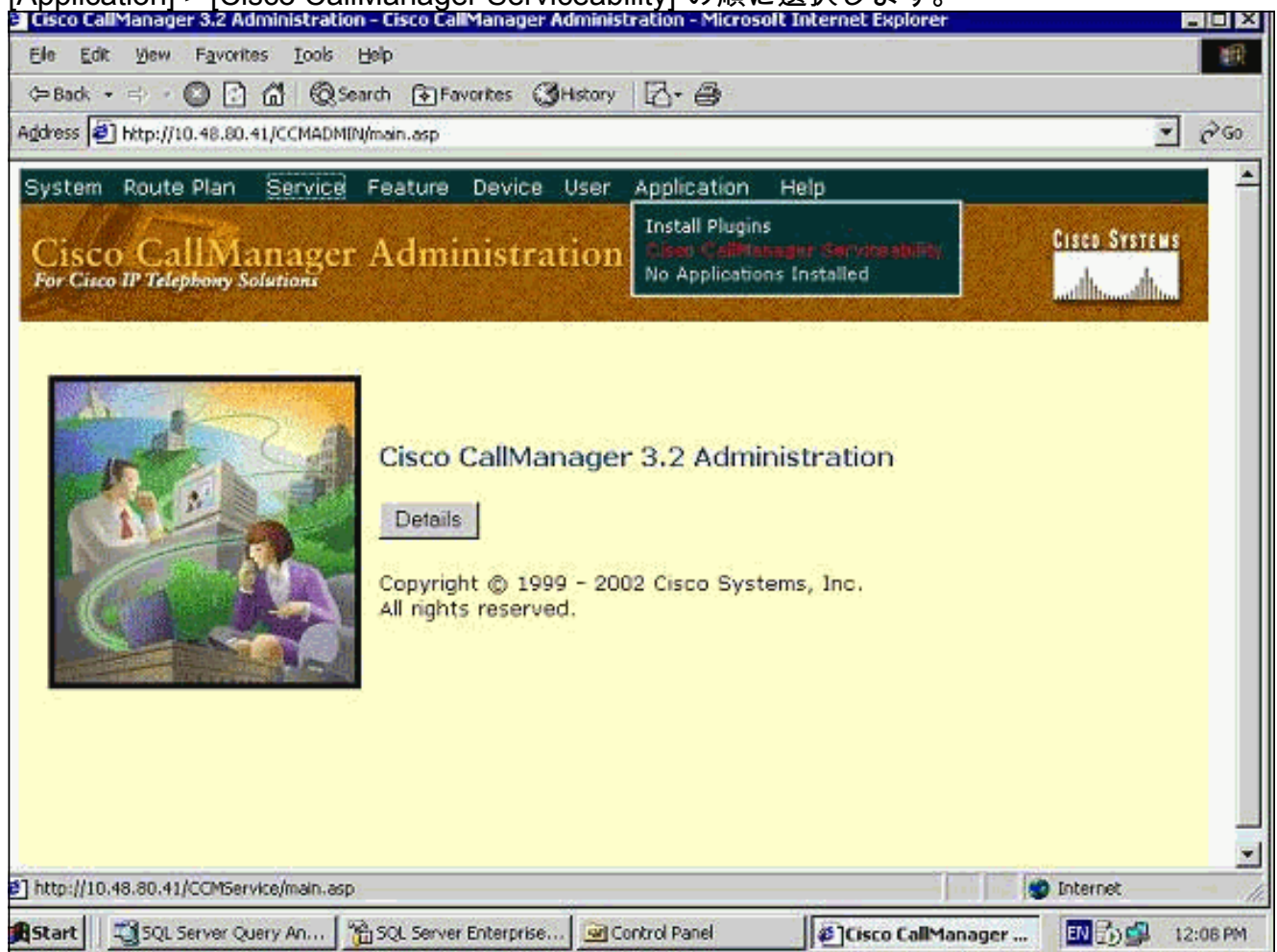
Status: Ready

Parameter Name	Parameter Value	Suggested Value
<b>ServiceWide Parameters</b>		
Max CDR Records*	<input type="text" value="1500000"/>	1500000

\* indicates required item

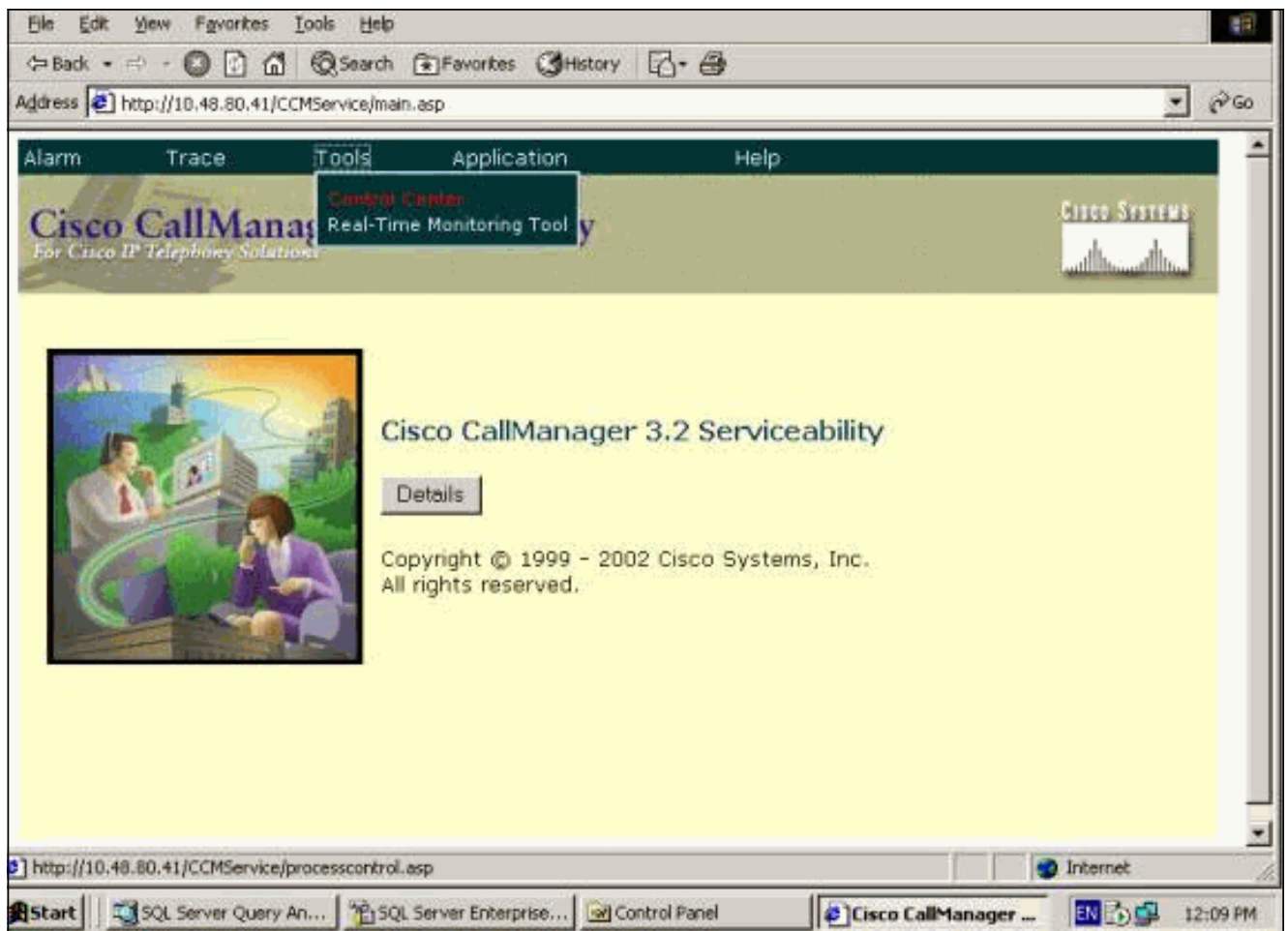
 [Click for More Information.](#)

- [Max CDR Records] フィールドの値を少ない値 ( 1400000 など ) に変更し、[Update] をクリックします。注: [Max CDR Records] の値は段階的に変更してください。一度に 0 まで下げると、CPU スパイクが発生する可能性があります。
- [Application] > [Cisco CallManager Serviceability] の順に選択します。

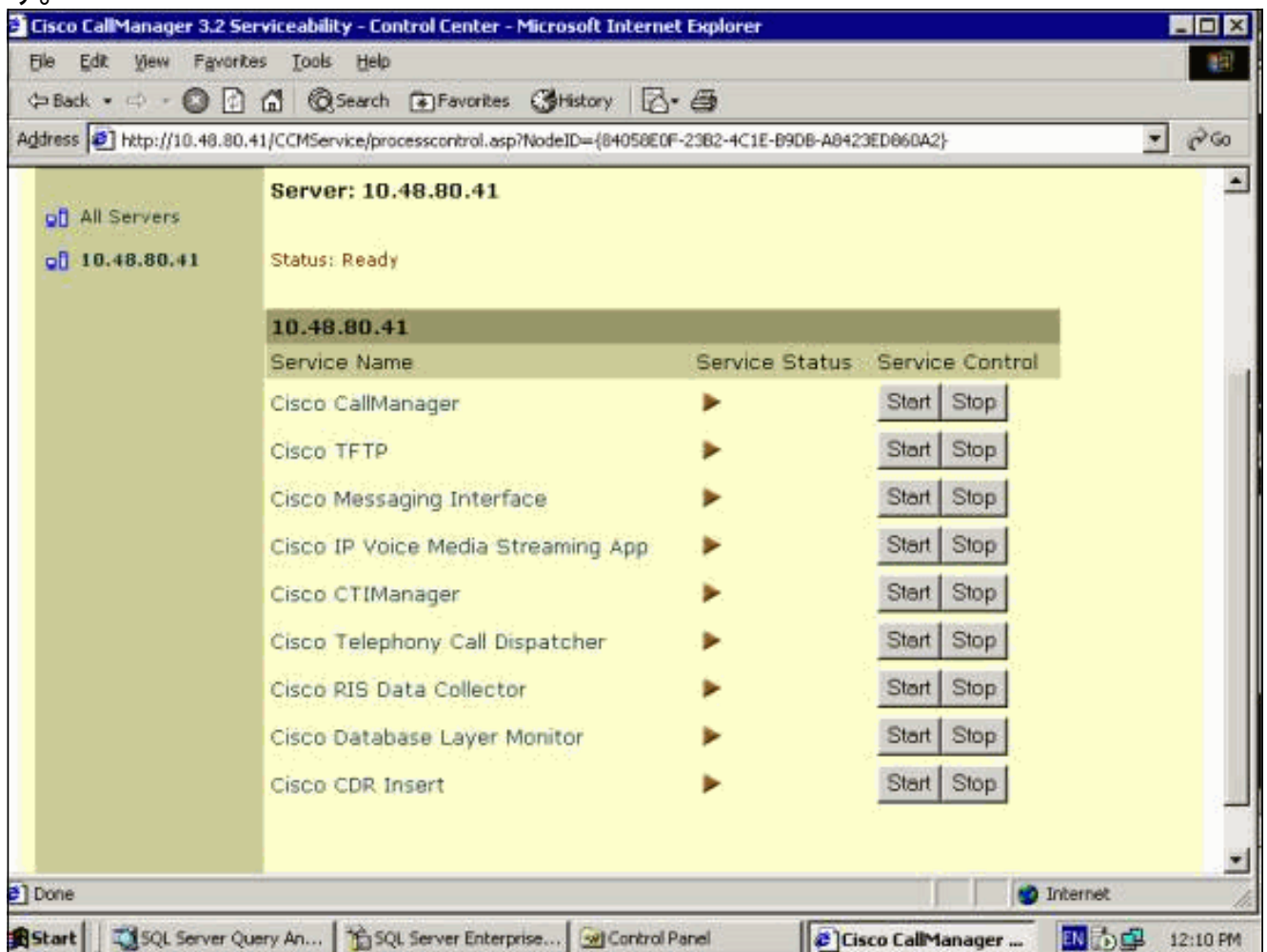


- [Cisco CallManager Serviceability] ページで、[Tools] > [Control Center] の順に選択します。[Control Center] ページが表示されます。



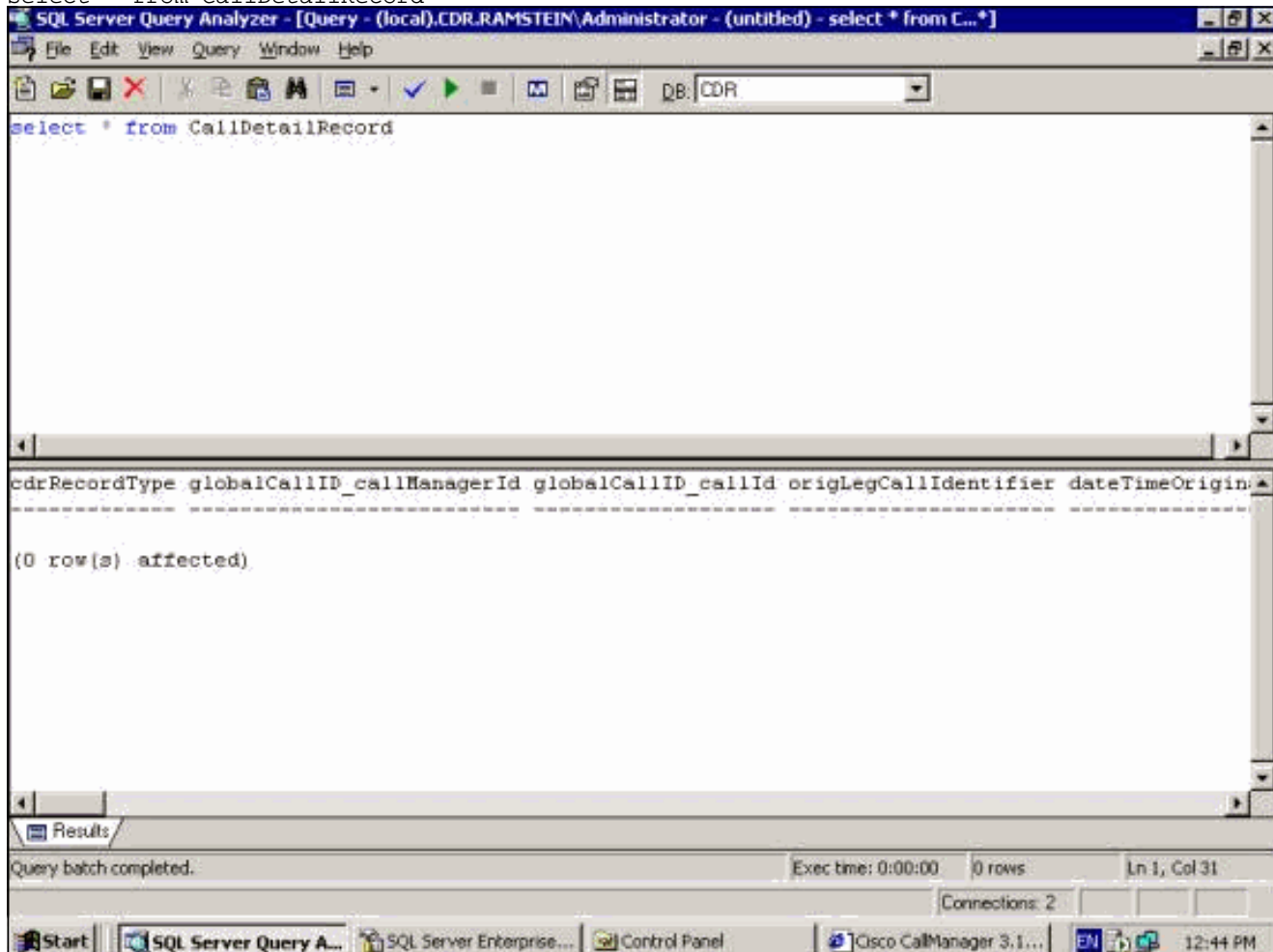


6. Database Layer Monitor サービスのサービスコントロールを探して、[Stop] をクリックします。



7. サービスステータスインジケータ（前の画像を参照）が示すようにサービスが停止したら、[Start] をクリックしてサービスを再起動します。サービスを再起動すると、[CDR] に [CDR Max Records] の値で指定された CDR の新しい数値が表示されます。この例では、新しい数値は 1400000 です。
8. ステップ 2 ~ 7 を繰り返します。値が 0 になるまで、[Max CDR Records] フィールド内の数値を減らします。0 レコードに達したら、次のコマンドを発行して、SQL Server Query Analyzer 経由で CDR データベース内の結果をチェックします。

```
select * from CallDetailRecord
```



注: この手順が完了したら、次の図のように、[Max CDR Records] の値をデフォルト設定に戻します。そうしないと、CDR が保持されません。

## Service Parameters Configuration

[Select Another Server](#)  
[Select Another Service](#)

Current Server : 10.48.80.41

Current Service: Cisco Database Layer Monitor i

Status: Ready

Parameter Name	Parameter Value	Suggested Value
<b>ServiceWide Parameters</b>		
Max CDR Records*	<input style="width: 150px;" type="text" value="1500000"/>	1500000

\* indicates required item  
i Click for More Information.

## 関連情報

- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)